

令和2年度 大分県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業
最低賃金専門部会

- 1 日時 令和2年10月7日(水)午後4時～
- 2 場所 ソフィアプラザビル 2階会議室
(大分市東春日町17番19号)
- 3 出席委員(敬称略)
公益代表:城戸 照子、下田 憲雄、清田 透
労働者代表:石本 健二、松下 正芳、山田 功一
使用者代表:石井 四郎、佐藤 一彦、藤野 久信
大分労働局:岡本 労働基準部長、幡手 賃金室長、金丸 室長補佐
- 4 議 題
(1) 金額審議について
(2) その他
- 5 議事要旨
(1) 金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議方式について
公労使が別室に分かれ、労使が個別に公益と協議し、金額審議を進めていき、その後全委員が集まり意見集約する方法とした。
ウ 協議要旨
労側委員からは、電気産業は付加価値の高い製品を生産していること、デジタル化やテレワークにより情報産業の需要拡大が見込まれること、デバイス業界の求人増加など景気回復が見込めることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。
使側委員からは、米中貿易摩擦による半導体産業の情勢が悪化していること、コロナにより国外出張不能による海外需要に対応できない

現状であること、雇用調整助成金に頼らざるを得ない経営状態であることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。

エ 協議結果

意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月13日(水)午後1時から開催することとなった。